は雨量が少なくアフリ

力的

で、

半砂漠

翌八日は

快晴、

ような赤い

裸地が続

くと言わ

れて

の斜

は、

ネ

p

カ

ンタ ナ

ブリ 林も見ら

ア山

地

な

ほ 面

どである。

する

ブ

0

るとス

テ

"

力

"

な生態系にも恵

まれ

7

11

る。

か

れ プ

ネ 0 旅

(上)

中 村 紬

全長四〇 思うと、 連山ではなく、 岩からなる褶曲山脈であるが、 ド瀧を落とすなど、複雑な地形を スペインとフランスの ネー山脈は、アルプスと同様、花崗 オッ 無数の山上湖が点在する台地 ている。) (きの あるい ソウ並びに西部 鋭い岩峰が聳えるかと 山群は東部、 は何段ものカスケー 般にイベ 国境に連 IJ の五群 中 単純な ヤ半島 央 示し、 オ サ

最高峰アネトニ ケーブル・リフト等の乱立がなく、 私共はピッ 年は中 にも勝る魅力は、 央山群に属するピレ 山が静かな点であっ ケルと軽アイゼンを携 バスの 豪華な ホ テル

迎えのタクシー

が予約してあっ

た で、

0

九日は夕方、

オスピタル広場ま

夕方のことであった。 ど登って標高す ジープで入り、 えて日本を出発した。 スケから十六キの車道をチ 屋である。 小部屋が五 小屋に着 一つ程並 たのは、 残雪の道を 四〇以 んだ小じまりした 一段べ 六月七 0 レンクル + 終点べ " 1 ター 百 金 ナ

0

で

1992年(平成四年) 2月号(No. 561)

日本山岳会 The Japanese Alpine Club

定価一部 150 円

ピレネーの旅(上)……中村純二…(1) 海外の山………(2) 「旧ソ連の山の行方」

日本三百名山の新リスト作成……(2) 追悼 早川種三先輩の死を悼む

.....田辺 寿…(4) 東西南北 ………(5) 「年次晩餐会と懇親山行に参加して」

「大野山・別行動・釈明記」ほか 図書室だより(6)・書籍・雑誌受入報 告(12月)(7)

日本山岳会所蔵山岳地図目録 4 アジア・太平洋・アフリカ……(8) 図書紹介……(9)

「ヒマラヤへの挑戦」「いらすと 丹沢・山ものがたり」ほか 自然保護随想 ……(10)

「三水会懇親山行」「飯豊の高山植 物講演会」「自然環境保全のため の視察山行」

会務報告…………(13) 12月臨時理事会,12月理事会,ルー ム日誌, 会員異動, 山研・ナムチャ 合同募金応募状況, 新入会員(復 活), 住所·住居表示変更

10時~20時 月,火,木,土曜 水, 金曜 13時~20時 お知

べらせ

プ電話

3234

ㅈ

六

五

日曜・祭日・月曜を除く毎日 13時~20時

> 岩稜に 無理 0 えてこの 尾根のような上 ポー だだ。 取 テ 付き、 イジ 日は左 予定を変 3 北 2 方 F

▶日本山岳会事務取扱時間

日曜・祭日は休み ▶図書室開室時間

ど三千

が峰

近くを望む三六〇

度

ネトやマラデタな

展望はなかなかの圧巻であった。

を繰返 一
が
に
達
し
た
。 ィジョン二七 L て、 ポ T 四 1

雪が堅くてピッ 時間的にアネト 小屋の前から始まる し斜面が急にな も必要にな ケ 時間半ほ ト八名 ル も刺 0 復 7 0 アイゼ か開い 入ることにした。 谷入口で乗捨て、 イレ 時があるので、 いう環境保全ぶりであっ 0 六月は未だシーズンオフでレ な た所に通年営業の サの小屋は金曜と土曜の夜だけ 電 0 7 ンを購入したものの、 いない。 使 気は太陽電池と水力で賄 区用紙は祭 年と同 ベナスケで十本爪 その間エ タクシー 箱に集め 時 間 ストス小屋 程 て焼却 を四十先 ストス谷に 沢沿 人で 金曜ま

11

が に 0 ワ

を

返しながらゆっくり下山した。 頂く岩山を映す山上湖など、 レナグサなど咲き乱れる草原や、

カタクリやラッパズイセン、

うに、本屋の主や、郵便局員などとも 急斜面の藪漕ぎなど強要された。しか なく、雪崩に襲われた倒木帯の通過や、 貰ったタクシーの運転手とその奥さん 傍に止った。見ると入山の時乗せて かけたが、いづれも踏み跡はさだかで エゴ湖、十三日はバルディミナ湖に出 爽やかである。 直ぐ親密になれ、 で、早速ドアを開けベナスケまで送っ 車道に出ると通りがかった一台の車が ど、静謐そのもので素晴らしかった。 しその上に広がる湿原や、氷河上での 屋専有できた。 て呉れた。イベリヤの田舎ではこのよ 奇怪な形の岩峰の影を落している姿な く氷結して、抜けるような青空の下、 んびり遊ぶ六頭のサリーオ(かもしか) 下山の日、谷を出て焼けつくような 十二日はモンティディ 暖い交渉に発展して

日本三百名山の

新リスト作成

まとめて、理事会に報告し了承を得た。 百名山選定の経緯(次号掲載)をとり 作成するとともに、関連資料として三 選定になる日本三百名山の新リストを 選定になる日本三百名山の新リストを

細外の凹

旧ソ連の山の行方

象的だった。 初めて小雨のネフスキー通りを歩いた時はなかなか印

人感心したのを覚えている。ラードではなく、やはりペテルブルグじゃないか、と一パートの多い町並みを彷徨いながら、ここはレニングパートの多い町並みを彷徨いながら、ここはレニングドストエフスキーの家などのある古い煉瓦作りのア

強まったのである。 強まったのである。 強まったのである。 強まったのである。 強まったのである。 強まったのである。 出の世界にも多少影響を及ぼすこととなった。 出の世界にも多少影響を及ぼすこととなった。 出の世界にも多少影響を及ぼすこととなった。 出の世界にも多少影響を及ぼすこととなった。

クライミング、スキーツアーなど客の好みに応じたいろ た。登山、トレッキング、山スキー、洞穴探検、ロック ルブルグ外国貿易協会の傘下の「レンツアー」に「アル いろなプログラムが用意されている。 プ・ポイスク(山の探索)」という会社が新たに誕生し サンクト・ペテルブルグには、例えばサンクト・ペテ 比較ツアーが企画されているという。

二十五日間で千八百四十九㌔(約二十三万円)という具テングリ(六九九五㍍)地域」(七月二十二日のみ)はている)が十五日間で七百九十九㌔(約十万円)、「ハン(三月から十一月まで三十二回のスケジュールが組まれ(ヨーロッパ最高峰エルブルース(五六四二㍍)登山」「ヨーロッパ最高峰エルブルース(五六四二㍍)登山」「昨年十月に出されたコース案内の一部を紹介すると、昨年十月に出されたコース案内の一部を紹介すると、

文の案内の中で言っている。をお迎えします」と、社長のヴェラ・ヴィドリクは、英「ほかにもご要望に応じて、最高のサービスで皆さん

とのことだった。

せのことだった。

のことだった。

議の後、ネパール、ブータン、バイカル湖と三つの生態・ペテルブルグだけではない。旧ソ連の各共和国、各都・ペテルブルグだけではない。旧ソ連の各共和国、各都、別日十七日から十日間、黒海沿岸のソチで開かれる。会れ月十七日から十日間、黒海沿岸のソチで開かれる。谷和月十七日から十日間、黒海沿岸のソチで開かれる。会れ月十七日から十日間、黒海沿岸のソチで開かれる。会れているのは、もちろんサンクト登山を売り込もうとしているのは、もちろんサンクト登山を売り込もうとしているのは、もちろんサンクト

連の山がどう変わるか、気になるところだ。

連の山がどう変わるか、気になるところだ。

連の山がどう変わるか、気になるところだ。

連の山がどう変わるか、気になるところだ。

連の山がどう変わるか、気になるところだ。

で山々の範囲は広がる一方、社会主意離れの思想的な観点から山の名も見直しがすすんでいる。この一年、オリンピック出場問題だけでなく、旧ソる。この一年、オリンピック出場問題だけでなく、旧ソる。この一年、オリンピック出場問題だけでなく、旧ソる。この一年、オリンピック出場問題だけでなく、旧ソる。この一年、オリンピック出場問題だけでなく、旧ソ連の上がどう変わるか、気になるところだ。

江本嘉伸)

事外の 山

日本三百名山の新リストを作成しようら、一つ、三百名山に関する委員会が、「今回、三百名山に関する委員会が、「今回、三百名山の新リストおよび関連資料」三百名山の新リストおよび関連資料

近年、日本百名山の登頂を完了した人が多くなり、そうした人の中には次の目標として深田クラブの二百名山、の目標として深田クラブの二百名山、が増えており、本会にも三百名山についての資料請求や問い合わせが寄せられている。

までの数輯に掲載されてきた。しかし記』一九七七年版以来、一九八八年版日本三百名山は、本会発行の『山日

※次代に残そう美しい山と溪

※

※

できる。

※

できる。

※

できる。

※

・

・

性が生じてきた。 生が生じてきた。 生が生じてきた。 生成部が僅少であり、そうした希望に は残部が僅少であり、そうした希望に は残かが僅少であり、そうした希望に はたが最後に掲載された一九八八年版

また、三百名山の選定はすでに十数 また、三百名山の選定はすでに十数 ないと思われることから、この際に 会員にあっては全く知らない人も少な 会員にあっては全く知らない人も少な くないと思われることから、この際に アルドガ いた方がよいと考えられた。

題のあることが判明した。
是のようとが判明した。
とこで、その作業を望月達夫名誉会はが、検討を始めてみると、標高に問だが、検討を始めてみると、標高に問だが、検討を始めてみると、標高に問題のあることが判明した。

りである。

とした意図およびその経過は次のとお

標高については最高地点の標高については五万図の等高線からない山にあっては五万図の等高線からない山にあっては五万図の等高線からが、三角点の標高を読み取っていた。しかし今日で時代であり、三角点の標高をもってそ

ることとした。

の文言をリストの末尾(後掲)に添えを喚起しておく必要があると考え、そ

|に| なってきた。| なってきた。

てしまうといった行為に対しては注意 禁止になっている浅間山、焼山、接近 すら不可能な雲仙・普賢岳、さらには 極めて危険な桜島といった活火山が含 をにこれら危険なば島といった活火山が含 とにこれら危険なば島といった活火山が含

り、趣味である以上、自然や他人に害ち、趣味である以上、自然や他人に害百名山をも含め)訪山を特に推奬することもしないし、またそれを無意味なりとすることもしないし、またそれを無意味なりとすることもしない。それは登山者の人間人の自由な意志による営為である以上、自然や他人に害している。

悪を与えるような登山でない限り、ど 悪を与えるような登山であり、現在も変え 以来の自由な精神であり、現在も変え が表が、といとか悪いとかを ではない。これは本会創立 ではない。これは本会創立

(三百名山に関する委員会)

日本山岳会 "山日記"編集委員会が、日本山岳会 "山日記"編集委員会が、日本三百名山を発表したのは、既に十を発表し、日本の主要山岳一〇〇三山を発表し、日本の主要山岳一〇〇三山を発表し、日本の主要山岳一〇〇三山の標高を補正して、新しい表を作成しの標高を補正して、新しい表を作成した。但し、採り上げた山岳を変更したた。但し、採り上げた山岳をのは一つもない。

標高については二万五千図によった。

本三百名山中には現在登山禁止と本三百名山中には現在登山禁止となる。また、将来このような山が現出いる。また、将来このような山が見出いる。また、将来このような山が見出いる。また、将来このような山が見出いる。また、将来このような山が見出いる。という保証はない。従って三百名山をどうしても登ってしまうというな山をどうしても登ってしまうというな山をどうしても登ってしまうというな山をといる。

付言しておきたい。
新資料を加えて本表作成に際し特に

平成三年十一月 日本山岳会

(3)

追 悼

 \mathbf{H}

辺

寿

早川種三先輩の死を悼む

無かった。 なお顔でもう一言もおっしゃることが 悩みも融かしてしまう大きいおだやか つけたが、早川さんはあのどんな奴の 知らせを聞いて池尻のご自宅に駆け 早川種三先輩が亡くなった。

てしまった。 「種さん」―としたった早川さんがいっ 早川種三先輩 種さんがいってしまった。 - 皆んなが「種さん」

うたれたに違いない。 撃を受け、改めてその人の大いさに心 なられた。多勢の人が種さんの死に衝 川さんだった。一その早川さんが亡く め多くの会社再建の神様と呼ばれた早 山岳会の大きな柱であり、興人を始

て今日在る者の一人です。 私も種さんに大きな深い薫陶を頂い

て四十年が過ぎた。 登高会でそして何時か直接種さん触れ いて早川さんの足跡にふれた。始めに 三十数年前私は慶応山岳部の門を叩

種さんは改めて言うまでもないが創

岳会とか全く関係なしに山の好きな若 は日本で始めての海外遠征であった。 あの槙さん達と登ったアルバータ登頂 成期の日本山岳会のパイオニアであり い連中を愛された。 種さんはどこの学校とか、どこの山

ことで一度として会って頂けなかった ことはなかった。 あんなに忙しかった早川さんに学生の に私の事務所があり、学生達と何度と 頂いた。丁度早川さんと同じビルの中 なくお部屋にお邪魔したが、今想えば 私は早川さんが登高会の幹事長の 山岳部の監督を六年間やらさせて

就職の世話をして頂いたのも何十 何百人になるだろうか・・・・

隊長を引き受け、私にも行けというこ 次エベレスト偵察隊の時、宮下さんが 早川さんはこういう連中の心と共に とになった。 みんな早川党として面倒を見て、 登っていたのに違いない。 私事になるけれども、山岳部の第二 「山が好きだ」―そのことで種さんは そう

て十年、種さんの言う「三越の番頭 当時私はヒマルチュリ登山から帰っ

難な会社再建の仕事を早川さんが次々

はなく会社の仕事の中でも変らず、困

と成功されたのも、従業員の人達との

がけない深い人生の示唆を示された。 けと言われると思っていたのに、思い かりが人生じゃない」と説教された。私 んだから今の道をすすめ、ヒマラヤば よお前は今会社で一所懸命やっている の許可をお願いして下さいと早川さん として一所懸命やっている時だった。 にしてみれば早川さんなら、直ぐに行 にお願いをした時に早川さんは「ナベ 宮下さんが、会社に私のエベレスト行

と申し上げると、 だからエベレストに行きたいのです」 向かえるのは山登りしかありません。 界一の美人を女房に出来るわけではな 併し私が「種さん、今更私の力で世界 何も言わずに次の日曜日、当時の三越 し、今自分の力で世界一のものに立ち の金持ちになれるわけではなし、世 種さんは判ったとも

ろある。 私はエベレストに行くことが出来た。 スト行きの許可をお願いして下さり、 の松田社長の所に来られ、私のエベレ こんな話は種さんの周りにはごろご

く面倒を見、その人が生きることに 所懸命応援して下さった。 種さんの大きな心は山の仲間だけで 種さんは山の好きな奴は誰へだてな

を、関係された方から伺ったことがあ たことが一番大きな原因だということ 大きな心の信頼関係を持つことが在っ

期スキー登山のパイオニヤワークに熱 とはなかった。あれだけ学生時代から 分から登ることはなかった。 心だった種さんはある時期を終えて自 い。併し種さんはヒマラヤには登るこ いを託して毎日見ておられたに違いな マラヤを希み、 んが三田さん達とアルバータの次にヒ ンチェンジュンガの写真が在る。種さ 日本の山々を歩き廻わり、日本の積雪 種さんの日本建鉄の部屋に古びたカ カンチの写真にその想

心と共に亡くなる時まで登っておられ 併し種さんは山を志す多くの人達の

登った。 くの人達と共に種さんはヒマラヤに 戦後ヒマラヤ登山には資金の応援で多 槙さんや三田さんを始め、 山岳会の

らない。 身になって面倒をみられた人を私は知 そして若い人達の面倒をこんなに親

人達と種さんは山に登ったのに違いな 山を志す若い人への深い愛情でこの

今種さんは古い仲間、若い後輩—今

上の休憩所に入り雨宿り、休憩、

酒肴、昼

昼食

部に万里の長城を想わせる牧場の急登

に掛かる。呻吟五、六分で尾根へ、頂

ない。 楽しく新しい山々に登っているに違い ラヤに、ヨーロッパアルプスにそして アンデスに登った人達と種さんはまた まで心のつながりで日本の山に、 ヒマ



年次晩餐会と

親睦山行に参加して

平野 明

合いなのです。 くして、味わい得ない私の人生の巡り 諸先輩との出逢いは、 の素晴らしさ、 山岳会のお世話になり、クラブライフ ラザホテルと記憶しております。 九七五年、会創立七十周年記念京王プ 私が年次晩餐会に参加したのは、 入会以来、早くも三十年に垂んとし、 楽しさをご教示頂いた 山岳会の行事な とする。各地会員の名産酒、

す。 た両先達に改めてお祝い申し上げま 氏である。 支部のこと等でご薫陶頂い

鑠とした姿に敬意を表します。北海道 く中沢真二会員六二三番の満百歳、矍 謝申し上げるとともに、会長表彰に輝 営に努力された理事、委員の方々に感 支部関係出席者は六名でした。 年より若干少ないながら、一所懸命運 今年も、皇太子殿下をお迎えし、昨

る。 松田駅に近ずくと、雨が降り出して来 の当日。新宿を出た小田急電車が、新 翌八日は、太平洋戦争開始五十周年

雑木林を過ぎると左に大野山、 こは、 杉木立が切れると、小学校が現われる。 野山登山口行の富士急バスに順序良 ブ降りでなかったらのJAC精神。 名参加。登山口で点呼、人家が過ぎ、 案内によると雨天中止とあったがそ 整然と乗車。松田副会長以下八十 流石JACである。ジャブジャ 右手上

らたか、先程の雨が上り、 囲を見周すと、 いこみ、もう一度腰を据える始末。周 会となる。食べ吞む程に、山の霊験あ 食がディバックより取り出され、 山北テレビ放送所や、 雨具を仕舞 交歓

大元低温科学研究所長朝比奈英三の 方が誕生した。前支部長橋本誠二、北 共の北海道から新らたに、永年会員二

さて、一九九一年次晩餐会には、

私

れる。 近くの鍋割山、 桧岳、 権現山等が望ま

を抜けると、JR御殿場線谷峨駅に出 歩くこと一時間余りで、 東名高速道

に乾杯。 深謝し、この山行に参加された皆さん 懇親山行の反省会を開く。主催された 反省のない面々、十数名集合、大野山 呼び止められ、駅前焼肉料理大松園に 石田、藤井、藤田、中川の各委員に、 国府津行電車で松田へ。新松田駅で

大野山·別行動·釈明記

郎

した。 松田副会長を先頭とする会員諸兄姉の 六人は、前夜年次晩餐会でお会いした 隊と大野山頂上直下ですれちがいま 去る十二月八日(日)正午頃、 私ども

話人として企画し、その一ヶ月後に発 山行が目的で、すでに十月には私は世 年前に大野山で遭難死した先輩の慰霊 明できず失礼しました。私どもは二十 け、雨の中の立ち話では委細事情を説 表されたJAC プで来たのでお先に失礼!」と声をか 登頂の相互逆方向で、私は「別グルー 私どもは湯本平へ下山、 (以下 J会と略)の大 会員諸氏は

野山計画を知っても、 諒とされたい。 ため日取り等の変更のしようがなく、 諸事手配済みの

卒)で、氏個人はJ会員ではなかった 沢登り等、健脚であった。 り薬師越え、没年夏から秋には丹沢 登山に精進され、死没前年には立山よ が、在学中に山岳部を創立して以来、 一氏(旧制・東京商科大学大正十五年 (以下日会と略)初代会長の中川孫 さて没した先輩は一橋大学一橋山

す。 単独行の誠めとして執筆した次第で 難したか想像できないのだが、故人へ の懐旧ではなく、低山にひそむ危険と 車道と牧場のある平易な山で、 その矍鑠たる氏が、あの、 頂上まで なぜ遭

野山に登り、湯本平に下って温泉行き 同期生の忘年会が中川温泉であるの のバスに乗る計画でした。 で、これに参加する往路を利用して大 しかし当時の国地院と昭文社の地 昭和四十六年十二月十二日 (土)氏 快晴 0

まった。 きわまり、 追い込まれ、ゴルジュ状の谷間に進退 密生した藪にはばまれ、次第に沢筋に 直降下したものと想定される。 もと下に見えるバス道路に向って、 上より歩き易い牧草地を尾根どおしに にはこのルートの記入はなく、 直接の死因は警察の検屍結果 滝の上より壺に転落してし しかし 頂

では首の骨折で即死と推定された。
さて、単独行のため足跡も遺留品等
の手懸りはなく、H会より毎日曜周辺
に捜索隊をだしたが駄目、警察の機動
に捜索隊をだしたが駄目、警察の機動
に捜索隊をだしたが駄目、警察の機動

本の大山北農業高校の植物担当の教諭 が、彼岸の頃にその付近の俚称ザワンが、彼岸の頃にその付近の俚称ザワンが、彼岸の頃にその付近の俚称ザワンが、彼岸の頃にその付近の俚称ザワンが、彼岸の頃にその技術を発展したことから故人のものと判明、捜 大田は狭ばめられ、三月二十二日警 大田は狭ばめられ、三月二十二日警 大田は狭ばめられ、三月二十二日警 大田は狭ばめられ、三月二十二日警 大田は狭ばめられ、三月二十二日警 大田は狭ばめられ、三月二十二日警 大田は来ばからで、偶然落葉を 大田で埋むれていた遺体を、偶然落葉を はいのけたのがきっかけで発見し、一 大田で埋むれていた遺体を、偶然落葉を 大田で埋むれていた遺体を、偶然落葉を 大田で埋むれていた遺体を、偶然落葉を 大田で埋むれていた遺体を、偶然落葉を 大田で埋むれていた遺体を、偶然落葉を 大田で埋むれていた遺体を、偶然落葉を 大田で埋むれていた遺体を、偶然落葉を 大田で埋むれていた遺体を、偶然落葉を 大田で発見し、一

大野山は七○○㍍余の低山だが、あ大野山は七○○㍍余の低のであったのでの沢下りは危険そのものであったのであるように断層と浮き石が多く、不案内の沢下りは危険そのものであったのである。

『南アルプス登山日記』が

田畑真

アルプス登山日記』と表書きされた大の村である。同村の青木義源氏宅に『南に山梨県の芦安村と言えば南アルプスに

翌朝、

ペース配分を乱した身体でふ

正から昭和にかけての登山者名簿が保存されていた。これは先代の久治郎氏(山案内人)が旧蔵されていたもので、色あせてしみが随所ににじむものの、同時代の先人アルピニストの姿が彷彿としてよみがえる。小谷部全助ら先人のお名前が随所に見える。望月達夫氏らのお名前も見える。山案内人サイドの資料は珍しくも貴重だと思う。そこで青木氏のご了承を頂き、資料を員会の議も経て、山岳会の資料としてそのですることとなった。詳しくは復写本を保存することとなった。詳しくは復写本をで

山で困ったこと・

釣橋とカゴの渡し

遠藤泰孝

五歳。
五歳。
五歳。

るい湯につかる。

大町の先の大出から関電トンネル開大町の先の大出から関電トンネル開発工事のための食糧輸送のトラックに発工事での発育しての経験とて、針の木雪渓を約三十十近く背負っての登りは辛かった。峠の手前で天幕を張ってその日はた。峠の手前で天幕を張ってその日は

うなものだろうか。
からふらと辿った先の木の間隠れに平のらふらと辿った先の木の間隠れに平のらふらと辿った先の木の間隠れに平のらいらいとが

れるか。この弱り果てた身で。夕方、 くなってしまって、ザックを背負った くなっている。渡り始めていよいよ急 話しには聞いていたが、桟がかなり無 黒部本流の河原で砂や小石を掘ってぬ がへそまで。一人ボッチの心細さよ。 ザックを背負って戻る。 深さを測るべく空身で渡り、次いで ろなら渡れるというので、小屋側から やじに聞くと少し下の流れの浅いとこ ままでは鉄線の上は何としても渡れな 流の真上という辺りの桟が五、六本無 トから鉄線の上を渡る。 い。仕方なく天幕だけ肩にしてスター 如何にしたらこの深奥から里へ逃げ切 ところがその釣橋たるや、 平の小屋のお 深い辺りは水 前々から

をの上に腰掛けてザイルを手繰るが、 を思いをした。カゴにザックを乗せ、 を思いをした。カゴにザックを乗せ、 を思いをした。カゴにがりに半死の如 で我輩が先になったばかりに半死の如 で我輩が先になったばかりに半死の如 で我輩が先になったばかりに半死の如

山 研 改 築 合同募金に協力を!

ワイヤーの中間の一番たれさがったと 力をふり絞っても進まない。 眼下は急 力をふり絞っても進まない。 眼下は急 来ない。 結局自力で何とかなったから こうした記述もできる訳だ。 連れは渡 り終った私にザイルを手繰ってもらえ るから安楽なものだ。何たるお人好し。 かくして御山谷の雪渓を登りつめ、 一の越を経て地獄谷に泊り、その翌日 は履きなれないナーゲルシューズのため痛めた足を引きづりつつ雷鳥沢を 登ったものの、クロユリのコルでつい に剱登頂を断念。

小松坂は長かった。黒四ダム工事のバス待合所に急いだ。

である。
である。
である。
である。
である。
である。
である。

-	100	+44=+	777	40 HD H	1991年12月
-	===	- 学性 = 大	→ ∧	71.76	1991 年 17 月

著 者	書 名/雑誌名	版型・ページ	出版元	出版年	寄贈/購入別
坂本俊亮	山形百山	A 5/294 pp	無明舎出版	1991	発行者寄贈
昭和女子大学近代文化研究所	f 近代文学研究叢書 65 小島鳥水他	B 6/717 pp	同研究所	1991	発行者寄贈
横浜友雁会	ゆうかり 創立30周年記念誌	B 5/97 pp	横浜友雁会	1991	発行者寄贈
低い山を歩く会	私の奥多摩 低い山を歩く会30周年記念誌	A 5/151 pp	低い山を歩く会	1991	発行者寄贈
横浜市立大学天山踏査の会	90・天山山脈トムール峰	B 5/83 pp	同登山隊	1991	堀井昌子氏寄贈
松本高等学校山岳部	わらぢ7号	A 5/52 pp	同山岳部 19	946 大	木保太郎氏寄贈
Suke Okazawa	JAPANISCHEM BERGSTEIGERGEIST AUF DER SPUR	B 5/112 pp	岡沢祐吉	1991	著者寄贈
北海道大学山とスキーの会	北千島,阿頼度・幌筵島遠征の報告 1990	B 5/86 pp	同登山隊	1991	購入
松永敏郎	空にただよう峰	A 5/519 pp	アポロスポーツ	1991	著者寄贈
Harm J. de Blij Ed.	NATIONAL GEOGRAPHIC RESEARCH vol-1~6	273×208/a 130 pp	NGS.	1985-9	0 購 入
Margaret Jefferies	MOUNT EVEREST NATIONAL PARK	A 5/192 pp	Mountaineers	1991	購 入
Hugh Swift	TREKKING IN PAKISTAN AND INDIA	214×137/510 pp	Sierra Club	1990	購 入
Stephen Bezruchka	TREKKING IN NEPAL 6 th Ed.	$210 \times 134 / 446 \text{ pp}$	Mountaineers	1991	購 入
Gary McCue	TREKKING IN TIBET	$210 \times 134 / 304 \text{ pp}$	Mountaineers	1991	購入
Bill Sherwonit	TO THE TOP OF DENALI	$228 \times 152 / 347$ pp	Alaska Northwes	t 1990	購 入
Jeremy Schmidt	HIMALAYAN PASSAGE	$228 \times 160 / 297 \text{ pp}$	Mountaineers	1991	購 入
Sidney Burrard	ON THE ORIGIN OF THE HIMALAYAN MOUNTAINS	$288 \times 212 / 26 \text{ pp}$	Survey of India	1912	伊丹紹泰氏寄贈
長野県山岳協会シシャパンマ峰登山隊	長野県山岳協会シシャパンマ峰登山隊 遭難事故報告書	B 5/36 pp	同登山隊	1991	発行者寄贈
イッポリト・デジデリ	チベットの報告 1 東洋文庫 542	173×118/347 pp	平凡社	1991	薬師義美氏寄贈
米川正利	山小屋物語 北八が岳 黒百合ヒュッテ	四六版/215 pp	山と渓谷社	1991	発行者寄贈
穂苅貞雄	山渓山岳写真選9 槍ヶ岳	$293 \times 226 / 111 \text{ pp}$	山と渓谷社	1991	発行者寄贈
奥田實	山溪山岳写真選 10 大雪山	$293 \times 226 / 111 \text{ pp}$	山と渓谷社	1991	発行者寄贈
長谷川恒男・ウータンクラブカラコルム	弘」隊 ウルタルⅡ 追悼-長谷川恒男・星野清隆	$240 \times 250 / 36 \text{ pp}$	長谷川事務所	1991	発行者寄贈
日田山岳会	三角点-創立 40 周年記念誌	A 5/130 pp	日田山岳会	1991	発行者寄贈
アーネスト・バーチ	図説 エスキモーの民族誌	A 5/217 pp	原書房	1991	発行者寄贈
高原三平編	雪上散步 No.1	B 5/106 pp	アルパインスキークラブ	1991	発行者寄贈

する目的で書かれています。

りない気がします。 なったものです。写真は素晴らしいが、 ティー自身の資金援助によって記事に より詳しい内容を知りたい場合は物足 各プロジェクトの短いレ ポート (NG) の記事の幾つかはNGソサエ 資金援助を受けた

としています。

▼ナショナル・ジオグラフィック誌

らす人々の文化を未来永劫まで残そう 確保しつつ、地域の自然と、そこに暮

ンチ・ドロミテのモン・エギュー登頂五

は一冊全部をドーフィネアルプス/フレ

シゴを用いて登りました。現在は二十八

行が近寄り難いこの岩峰にロープやハ

の新大陸発見の年にシャルル八世の侍従 ○○年特集に当てています。コロンブス

本のルートが拓かれています。

アジア(カフカズを含む)と太平洋地

図書管理委員会)

▼山岳地図リスト4はヒマラヤを除く

図書室だより

▼ヒマラヤの環境保全問題は、

(6)

七六年)、またこの流れの中でユネス 然と住民たちに関する基礎知識を提供 ドブックはヒラリーに連なる人々に 国立公園)にすべく活動したことをご 峰を含む地域を国立公園(サガルマタ の主導者であるヒラリーがエベレスト なったと思われますが、この連絡会議 者もその責任の一端を自覚するように て(一九七九年)保全のための資金を コによる「世界遺産」のワクにもはめ よって纒められ、ここを訪れる者に自 Everest National Park というガイ 存知の方も多いと思います。 Mount AT—Jの会議等によって日本の登山 る手段として国立公園を設置し(一九 破壊されゆく環境を保全し回復させ 先のH 供しています。NGR誌は報告論文に こが現在二○○件以上の調査プロジェ から「調査及び探検委員会」があり、こ とがわかります。NGSには創立当初 後で、写真は、カラー、地図、図版も豊 graphic Reserch という雑誌が創刊 年より寄贈が再開しました。一九九一・四 限らず、投稿論文も掲載する方針で、 クトに平均七○○○ドル位の資金を提 富で潤沢な予算が注ぎ込まれているこ されました。発行部数が七〇〇〇部前 から年四回発行の えられないということで、一九八五年 年ごとに一九八五年まで出していまし 会員のP・モンコルジェさんを通じて昨 ニュは長らく欠番になっておりましたが、 で学術雑誌の世界に乗り出しました。 地理および環境的視点を押し出すこと た。これだけでは学術的内容を充分伝 Reaerch Reports という書籍の形で ▼フランス山岳会の雑誌ラ・モンター National Geo-

日本山岳会所蔵山岳地図目録 4 アジア・太平洋・アフリカ

A官製 B個人、団体 aシリーズ b単作 c付録 d概念図 eその他

分類番号	発 行 者	発行年	地 図	名	縮尺
A 2-1 a	GSGS	1959	BATUMI	1301-NK-37	1:1,000,000
A 2-1 a	do.	1958	TBILISI	1301-NK-38	do.
A 2-1 a	do.	1960	BAKU	1301-NK-39	do.
A 2-1 a	GSGS	1959	KUTAISI	1404-324 B	1:500,000
A 2-1 a	do.	1957	TRABZON	1404-324 C.	do.
A 2-1 a	do.	1959	GROZNYY	1404-325 A	do.
A 2-1 a	do.	1960	BAKU	1401-325 C	do.
A 2-1 a	do.	1957	TBILISI	1401-235-D	do.
В 2-1 с	D. FRESHFIELD, Stanford Co.	1896	REAKS & GLAC	IERS OF THE CENTRAL CAUCASAS	1:210,000
A 2-1 e	ГУГК	1970	ЧЕНТРАЛЬ	НЫЙ КАВКА 3	no scale, sketch
A 2-1 e	ГУГК	1970	ТЕБЕРДА-	ДОМБАЙ	do.
B 2-1 b	WEST COL	1988	MOUNT ARA	ARAT REGION GUIDE MA	P 1:200,000
B 2-1 b	H. BOBEK, Alpine Journal-1958	1956	TAKHT-E	SULAIMANGRUPPE	1:100,000
B 2-4 b	S. KODAMA dan JOKO PURIADI	1990	MARI MENDA	KI GUNUNG DI JAWA (BARAT)	c1:120,000
B 2-4 b	do.	1990	MARI MENDA	KI GUNUNG DI JAWA (TIMUR)	do.
B 2-4 d	E. ANDERSON, Balkema Co.	1976	WESTERN SUI	DIRMAN RANGE, IRIAN JAYA	1:250,000
B 2-4 b	do.	1976	CARSTENSZ	GLACIER AREA, IRIAN JAY	'A 1:20,000
A 2-5 b	中国国際書店	1971	中華人民共和	国地図	1:4,000,000
A 2-5 b	中国地図出版社	1989	中国山峰一覧	×	1:5,500,000
A 2-5 b	do.	1989		AP OF MOUNTAIN PEAKS IN CHI	NA 1:5,500,000
В 2-5 b	成文閣	1971	漢拏山	案内地図	1:50,000
B 2-5 b	do.	1980	漢拏山	案内地図	1:100,000
B 2-5 b	do.	1972	智異山	案内地図	1:65,000
B 2-5 b	do.	1971	雪嶽山	案内地図	1:30,000
B 2-5 b	do.	1971	北漢山	案内地図	1:30,000
B 2-5 b	do.	1971	内蔵・白岩山		1:30,000
B 2-5 b	do.	1971	俗離山	案内地図	1:75,000
B 2-5 b	do.	1971		九千洞 案内地図	1:75,000
B 2-5 b	do.	1971	邊山半島	案内地図	1:30,000
A 2-7 b	Survey and Land Information	1987		NATONAL PARK and TAHURAN	
A 2-7 a	do.	1987		OK NZMS 262-12	1:250,000
A 2-7 b	do.	1985		& WESTLAND NATIONAL PARI	
A 2-7 d	Dept. Land and Survey	1964		D MOUNT COOK NATIONAL PARKS	1:100,000
A 2-7 d	M. KURZ , SSAF	1951		NEUSEELAND MOUNT COOK DIST.	1:100,000
A 2-7 a	Dept. Land and Survey	1977	WAIHO	NZMS-1-S 71	1:63,360
A 2-7 a	Survey and Land Information	1989		NZMS-1-S 79	do.
A 2-7 b	Dept. Land and Survey	1981		PIRING NATIONAL PARK	
B 2-8 b	Nelles	1988	HAWAIIAN		1:125,000+1:330,000
A 2-8 a	Dept. Interior	1964		OA QUADRANGLE	1:62,500
A 5-3 b	Institute Geographique National	1987	LA REUNIO		1:100,000
A 5-2 b	Overseas Surveys	1962		RUWENZORI	1:25,000
A 5-2 b	Land and Survey Dept. Uganda	1988		RI MOUNTAINS	1:25,000
A 5-2 b	Overseas Surveys	1965	MOUNT KE		1:25,000
A 5-2 b	Survey of Kenya	1973		OUNT KENYA	do.
A 5-2 b	A. WIELCHOWSKI and M. SAVAGE	1988		DE OF MOUNT KENYA	1:50,000+1:25,000
A 5-2 b	Overseas Surveys	1965	KILIMANJA		1: 100,000
A 5-2 b	M. SAVAGE	1988		DE KILIMAMJARO	1:50,000
A 0 4 D	M. DAVAGE	1900	MAI & GUI	DP ULTIMUMOUMO	1 . 00,000

お 知 6 せ

○『白き氷河の果てに』~'77 日本 K2 登山隊の ○神奈川ヒマラヤ登山隊「カラコルム写真展」 記録映画~再上映と講演の夕べ

期 日 3月11日(水)18:30開演 場 所 神奈川県立青少年センター

期 日 3月4~23日 10時~19時

場 所 横浜そごう9F 横浜市スポーツ情報センター (TEL 045-465-2023)

(問合わせ) 共に '92 神奈川ヒマラヤ登山隊 (TEL 0427-42-6111 広島まで)



ヒマラヤへの 挑戦1~3

......

日本ヒマラヤ協会監修 八〇〇〇m峰登頂記録

この年代には日本隊だけでも九十九

(四十三

語っている。 の変遷が大変目につく。 その登山史をひもとけば、時代、年代、 の登頂に三十年もの長い年月を要し、 最後のチョー・オュー登頂(八五年) 山記を三巻に集大成したものである。 本書は「ケルン」別巻として日本人 一九五六年のマナスル初登頂から、 本書が充分物

けて、 令もあり、早稲田のローツェ・シャー ル 六〇年代は政治状勢による登山禁止 七〇年代に入ると禁止令も解け、 隊のみが行っただけであった。 九五〇年代はマナスル初登頂に向 国をあげて三度遠征隊が送られ 東南稜、 マナスル西壁、 ダウラ マ

> ギリ南ピラーと南東稜のそれぞれ困難 が登頂に成功している。 この年代には二十一隊が挑み、 バリエーション時代の一 で厳しい登攀があり、 日本も八千以峰 角を築いた。 十四隊

がよく目につくようになった。 縦走や無酸素登山、冬期登山、アルパ 西稜と北稜、ダウラギリ・ペアルート イン・スタイルなど登山形式の様変り 大物バリエーション登攀もあるが、 スト) 八〇年代には、チョモランマ アンナプルナ南壁中央岩稜、 北壁、 カンチェンジュンガ北 (エベ K 2

つけるのだ。 の区切りではなく、 隊が成功)、ピークハント主義による 般ルートを目指す登山隊が多く、 何かが我々を引き そ

シェルパ、チームワーク論、遭難、追 殺ぐが、交信記録によるアタックの模 と登攀の実際や詳細がわからず興味を 悼など、各登山隊報告のエッセンスが 様や、アルパイン・スタイルの登山記 みではなく、装備、食糧、酸素、医療、 り込まれている。登頂記のみである さて本書だが、全十四座の登頂記の

は読む人を離さないだろう。

|巻千頁を越える厖大な貴重な記録

さと、 る。 集であるが、 ついたが、 表題のつけ方の無造作さが目に 再読するのに価する本であ 地形図やルート図の

B 5 判 1 三 三 平成三年九月一日 3三三六頁 頁 アテネ書房刊 2三三頁

いらすと

もの いがたり

時著

ない。 目標となっていたブナの古木が朽ちて あったと思う。現地は山荘から近いが、 跡を見たいというので案内したときで ていることは知っていた。 まんがや「ひとり画展」などで活躍し かすかな踏跡を探がして辿らねばなら 初対面はたしか尊仏山荘で、 著者・とよた・時さんのことは 尊仏岩 Ш 0

発点です。

が届いた。その夜は朝方まで一気に読 して待っていた。 た。これは面白いのが出来るぞと鶴首 丹沢の本を書いて見たいと便りがあっ せである。この春に時さんから漫画で 今までに見聞した、 ませてもらった。案にたがわず、 時さんとの出合も尊仏さんの引き合 九月早々に山と渓谷社から待望の本 地名・山名・歴史・ 私の

貧弱 のすべてがうまく編集されている。 民話などのほとんどが網羅され

てくれる本である。 登らぬ人達にも丹沢の素晴しさを語 はさらに丹沢への興味をそそり、山へ 古い丹沢党には懐古の情を、新人に

塔ノ岳、水無川の沢登りの人たちの出 丹沢に新風を吹きこんだ好著である。 んどがバスで大倉に向います。鍋割山、 解説、上の三分の二は下の解説をイラ ともに下三分の一がユニークな詳しい 全山遊びある記の七章からなる。 のはなし・不思議なはなし・丹沢のほぼ し・麓のはなし・動植物のはなし・野仏 小田急渋沢駅で降りた登山者は、 ストで要領よく面白くまとめている、 麓のはなしでは 本文は、山のはなし・沢と川のはな 「表丹沢登山口」、 ほと

開拓してできた村、 の渋沢、室町時代からあった村だそう 主な登山口についてその案内もかねて その生ひ立ちから世の移り変りまで、 ブになったといいます。とこのように 書かれています。 で、かつて雑木が生えた沢(柴沢) 丹沢へ行く人には、 シバがなまってシ 本当におなじみ を

やその糞から足形までイラストでわか りやすく、 ツからここに生息する動物たちの習性 動植物のはなしでは、 鳥についてもその特徴や鳴 丹沢鹿のルー

をまじえて、まったく楽しめる本であ けて、その名のいわれからエピソード き声まで、 植物についても、 四季にわ

りません」と結んでいる。 読んだ方々を、少しでも丹沢歩きの楽 ば、私にとってこんな嬉しいことはあ 史・伝統と信仰の山、 しさが増したような気にさせられれ くほど奥が深いものです。……本書を もち、山名、地名、石祠など聞けば聞 くだけでなく、そういうものに興味を 著者はあとがきで「丹沢は自然と歴 ただ山を登り歩

南アルプス

A5変型版

一五八頁

定価一四〇

奥野幸道)

九九一年十月一日 山と渓谷社刊

山の歴史

山本朋三 一郎著

によって組立てられている。巻頭、 めに「南アルプスコース概説」随想 しく呼びかけて、 ス」「山の名前を考える」「山名考の始 南アルプス」を上梓した。B5、横 一郎氏が、著者を「朋さん」と、 本朋三郎さんが、平成三年七月、 一七四頁。本文は、 JAC静岡支部長としての永 慶応と立教の山男の 「南アルプ 親

(自然保護随想)

女・子供の自然保護

となるだろうか。 争が起きた時、「軍事評論家」という肩書きの人たちがぞ れる、「国連環境開発会議」の頃には、環境評論家の登場 ろぞろ出てきたのは驚きだった。六月にブラジルで開か どんな社会でも、専門家が尊重されるらしい。湾岸戦

くする。おためごまかしのコマーシャルだと思う。 が流れる。少ない使用量ですむ洗剤は、水質汚染をひど が売り物になり始めた。「資源保護のため、洗剤の箱を 小さくしました」なんて、わけの解らないコマーシャル 「環境」や「自然保護」を、評論家、ジャーナリスト、 今年のキーワードは「環境」だそうだ。企業も「環境

コマーシャル(企業)の、「飯の種」にしないで欲しい。 对運動を起こしたのは主婦たちである。 琵琶湖の水質汚濁を進めないために、 合成洗剤使用反 粉石けん利用を

ルプス山行の想い出に託して、叙とさ れている。 の受賞にふれ、 年の功績、 静岡県体育協会体育功労章 第二次大戦直後の南ア 十五人全員に、 人である。

り、 らの依頼で発刊され、 スの静岡県側で開催されることにな 学校体育大会の登山部門が、 まとまりかけた時期、 稿したり、書き置いた山の原稿が一応 この本は、著者が、戦後ぼつぼつ投 登山口にあたる地元、 第三回全国高等 選手、役員千三 井川地区か 南アルプ 詣が深い。タマシイ、 盗の息遣い、

り変えようとする 始めた主婦たち。 企業は無リン洗剤を出して、 問題をす

る男の論理とは違う、単純で直裁な願いなのだ。 子や孫に残してやりたいのである。経済や政治が優先す これ以上、地球環境を破壊しないで、 その土地、 その山の所有者、地権者が開発に賛成して 美しい自然を、

うか。 タイトル)である。未来の所有者、 「自然は子孫からの借りもの」(雑誌、 未来の住人が美しい 自然保護のサブ

地、その山は未来永劫に、その人たちの所有物なのだろ

いるから、反対運動はできない。そうだろうか。その土

する権利を持っているのだろうか 自然を望んだ時、復元が難しい開発を、 現在の所有者が

好きな、 あやうくする事業まで、許されて良いのだろうか。山の 森林破壊、 子持ち主婦の、 水質汚濁、放射能汚染など、 率直な疑問である。 人類の生存を

山口悠紀子

うに、随所に史実がのぞく。 会などから贈呈されている。 域を語る行間に、貴族や、野武士、 著者は、何と言っても南アルプスの 著者は、山岳信仰、 馬蹄の音が聴えてくる。 連合町内会、 山の歴史とあるよ 神仏について造 広大な山 井川山岳 され、哲学的に帰納された一つの無意 民族の大自然に対する敬虔な心と、自 と、自づから問うて「…古来から日本 なのである。」この辺は、どうぞ実 心な願いとが仏教によって渾然一体化 分たち親族・一族に対する真面目で熱 を読んで下さい。 山に合掌するのは何故であろうか

副題に、

のと私は思っている 著者は、静岡市が生んだ岳人であ

中世大いに流行した崇りの大親分 言っている。「…菅原道真は、

山の神様を説い

識的な表現として、山に手を合わすも

この旗が見えるかどうか実験した。こ うして八紘嶺は、 多い。静岡の山では人気のある、八紘 ある。著者の面目躍如と思うのだが。 る。この十一座は、 県にはその半分の十二座がある。 れたと言う。 旗を立てて、静岡市役所の屋上から、 宿泊し、主人手塚忠吉氏との会話の中 る静岡市の行政管区に入る。静岡市は の天辺に「八鉱一字・皇軍万歳」の大 で、手塚氏が三河内川の源流の無名峯 記憶に畄めておきたいエピソートも 冠松次郎氏が梅ヶ島温泉梅薫楼に 一座は南アに連なってい 両氏によって命名さ 何と駿河湾に面す

プス」は、 摩訶不思議な本である。 冊かの参考書を手許に置きたくなる。 がらの炉辺閑話の趣がある。多少、畏っ 如何ようにでもなる。水窪あたりの無 民族学あり。読み手、読み方によって 知的な好奇心がかきたてられる。実に て本を開けると、どこを読んでも、何 人小舎で、焚火を囲み、酒杯を傾けな 朋さん」で行かせて貰う。「南アル 長くなってしまった。この辺で私も 朋さん流の、地誌・地学・

ねて三十回に及んだ、紅葉会、のこと、 終りに、朋さんに願う。毎年積み重

日本全国に三 静岡 書いて欲しい。 のである。 のこと、朋さんを巡るあの人この人を いつも先達を務めた、 続編を強く期待するも トレッキング、

「山名考の始めに」。

定印刷 光協会井川支部・梅ヶ島本川根有志 連合町内会・井川山岳会、静岡市観 平成三年七月三十一日 非売品 静岡市井川支所)発行 (中村太郎) 静岡市井川 限

HIMALAYAOF THE GARHWAL PEAKS AND PASSES 編者 JAN BAICZ

誌等の情報を中心に案内書に編集した ジャーナル・登山報告書・山関係の雑 インド北西部ガルワル・ヒマラヤ地域 もので、次の四章から成っている。 アルパインジャーナル・ヒマラヤン 編者自身も当地を訪問しているが、 ガイドブックである。 登山者ならびに高所トレッカー向け 当山域の一般情報

二、標高七〇〇〇以以上の峰 高所クロス・カントリー・トレッ ガンゴトリ西部の登山案内 キング

やトレッキング許可を得るための申請

書送付先も記されている。トレッキン

ヤと呼ばれていた当地域をナンダデ ガンゴトリ、 一般情報 従来クマウン・ヒマラ カメットおよび東部

> て地勢案内と登山史そして登山ルート グ案内に一部ルート図がない程度で全

のイラストが描かれているため、これ

けてそれぞれの地勢を説明し、 なかった当山域の探検・試登・登頂の マラヤの中で最も古くから開拓されな 歴史が概説されている。 がら、一九五〇~七〇年代に二十年間 クマウン・ヒマラヤの四グループに分 -国との国境問題で外人の入山を許さ またヒ

トが挿入されている。 のバリエーション等についてもイラス 易すく描かれ、初登のみならずその後 ルートについては全てイラストで判り に登攀の歴史が述べられている。登頂 ト他合計十二座について地勢概説と共 二、七〇〇〇 於峰 ナンダデビ、カメッ

四 峠越えルートが多数記されている。 のルートも多数記されている。 三、ガンゴトリ西部 ス等書名どおり氷河登降を含めた高所 の日程ルートが紹介されている。五九 レッキングを中心に数日から十日前後 ト図のイラストが描かれ、日本人開拓 の他計六つの谷筋にそびえる標高六〇 本書の前書きにはインド国内の登山 トレッキング・十四コースのト ガンゴトリ渓谷

> カーには大いに参考になるものと思わ から当地を訪問する登山者やトレッ

jny 発行 Alpinistyczny klub Eksploracy-二四六頁 一九九〇年七月ポーラン 価格不明(南井英弘)

報 告

三水会秋の懇親山行

金時山から足柄峠

十一月二十三日

日和。子連れの家族ハイカーにまじり、 時半。前日までの寒気が嘘の様な小春 喫させてくれた。仙石に着いたのは十 幅に遅れたが、今を盛りの谿紅葉を満 汗かいて外輪山尾根の矢倉沢峠へ出 小田原発のバスは、連休の渋滞で大

時神社からの道をあわせ、 る先に、芦ノ湖が光っていた。穂芒、 分、全員頂上へ到着した。 達を避けながらの急登となり、麓の金 超満員と告げる、金時山からの下山者 神山が陽に烟り、大涌谷の噴気の流れ 仙石原を挟んで、中央火口近の駒ヶ岳、 ハコネダケの生い茂る尾根道は、只今 驚くばかりに開発が進んでしまった

る。……霊峰富士は、冬霞の中天に白 成る程、座る所もない位の混雑であ

とビールで乾杯、お酒盛となった。予 占めることができて、早速昼食の席が 幹事が予約していた金時茶屋の一隅を 空腹も忘れて立ち尽くす。それでも、 の後、二時十五分下山となった。 山妙子さんにも入って頂き、記念撮影 定の時刻となり、往年の金時娘・小見 会の隆盛、お互いの健康を祈って甘酒 つくられた。小原さんの音頭で、三水 雪を戴いて泛んでいる。 北斜面のロープ、梯子を頼りの急な 暫し、 疲れも

停へと急いだ。 中をくだる足柄古道を、 を過ぎ、 光の笛吹石の辺り、そぞろ寒い夕風が あった。松の根かたに残る新羅三郎義 たちはじめていた。 で最も古い足柄峠に着いたのは四時で れた富士の姿にも暮色が迫り、 な芒の尾根路をゆく。終始左手に仰が 下降も二十分程で終わり、暫くは平坦 舗装道路を縫って、杉木立の 心せくままに関址 地蔵堂のバス 箱根路

孝夫(幹事)、吉武玲子 川上進、川上光久、菊地文雄、 高田眞哉、 乾能尚、岩堀瑞子、小原晴子、 久保孝一郎、 遠田栄・篤子、平戸 小林碧、 (小林碧) 同夫人、 酒包

隆66」とあるのは 入会員名簿中下から三人目「渡辺 の誤りにつき訂正します。 九月号(五五六) 渡辺陸(56) 十九頁新

日の出の時とは別に、

日の出の二

ない飯豊の自然は、この際是非守って

飯豊 の高 山 植 物

講 演 会

科学研究委員会

t が行った植物探索山行の講師として駒 話になった福島支部の笹川慶子会員 好評であった。 荒井先生には昨年七月科学研究委員会 豊の高山植物の講演会が開かれた。 止湿原と湯ノ花温泉でお話頂き、大変 銘酒持参で聴講に見え盛会となっ その折当委員会がお世 小

周辺にしか見られないヒメサユリ、 ジュソウやニリンソウの大群落、 ラサキヤシオ、 たシラネアオイ、アイヅシモツケ、ム の峰々が紹介された。春を告げるフク くサンクラストの浅草岳など、つづい ウキスゲ、雪が陽に融け再び凍って輝 クリーンにうつし出された写真は迫力 て紅葉や雪に覆われた雄大な飯豊連峰 十分であった。最初は霧に浮ぶ磐梯山 ブ 真黄色にひろがる雄国沼のニッコ ヨツバシオガマ、 飯豊 ま

> ど、季節や時刻、気象等によって起こ た。昔、山に現われる雪形を見て里人 た一面の枯木林は凄じいばかりであっ 次林の虫害、葉をすべて喰い尽くされ 生林の美しさもよくうつされている。 ラ等の色鮮やかな紅葉や天然の杉、 霧氷、イタヤモミジ、オオモミジ、カツ て私達を魅了した。雲海や山肌を覆う るその瞬間の自然現象が捉えられてい 子と呼ばれる雲間からさしこむ光芒な かる七色の虹、二重の虹、 空に浮び上がる佐渡の山々、天空にか あるいは日没後の僅かの時間、 反射してできるモルゲンロートの山、 原生林では絶対起こらないという 分も前に太陽の光が上空の薄い雲に ヤコブの梯 真赤な

会津の小荒井実先生をお迎えして、

十一月二十二日夜ルームにおいて、

グルマ、イイデリンドウなどつぎつぎ に美しい花が現われ嘆声があがる。 ローニー版スライドで、大きなス チン ま だ。まだ比較的人の手の加えられてい 然と一体になった昔の人々の心を私達 は改めて思い起こす必要がありそう 祀るため草木塔を建て、 がえる。草木の命も尊んで、その霊を れたのが、山を崇めた人々の心がうか にも山の神に祈りを捧げたという、自 の土をおとした所で、その名がつけら はき替え、下山時には草鞋についた山 えられなくなって来ているという。 利用することもなくなり、その形を捉 な雪形の写真もあったが、今はそれを は農作業の目安とした。そのいろいろ 草履塚は本山に登る時新しい草鞋に 山の木を伐る

> わいつつ、ユーモアあふれるお話を伺 行かねばならないと思っ い、一同満足して散会した。 先生ご持参の地酒「姫さゆり」 遠藤泰孝、中世古隆司、 大友裕美、 高橋詢、 鳥居亮、 高木康 津田 小川 を味 和 和

Ę 雄、 森武昭 武、木村カズミ、大蔵喜福、 村小一郎、 斉藤かつら、南井英弘、 夫、徳久球雄、 田要久、白鳥勝治、岩瀬正子、松丸秀 荒野康子、茂木洋子、石井恵美子、 野修、奥山巌、 北野忠彦、大森弘一郎、平戸孝夫、 近藤雅是、高遠宏、 子、佐藤正、山田格、 参加者(順不同)高井やす子、 増田達治、中村純二、中村あや、 加治川栄二、松下肇、 山崎昭男、 鴫原一男、 岩堀瑞子、 梅野淑子、 奥野道治、 笹川慶子、 中村あや 石

自然環境保全のための観察山行

上越国境 稲包山

関塚貞亨

行を行なった。 包山」(一五九七紀) かねて、十一月二日(土)上越国境の「稲 計画されている上越山域の現地調査を 自然保護委員会は、 への自然観察山 リゾート開発が

高原リゾート」構想の 稲包山周辺は「ぐんまリフレッシュ 環 (リゾート

もらいたい」と要請もあった。 れている山域なので、開発に反対して 久晴氏から「原始的な自然環境が保た 設を計画しているもので、会員の加藤 ター方式で、スキー場その他の施設建 (株)と中之条町、 法の重点整備地区) 新治村が第三セク 国土計画

として、

されて鮮かに輝いている。 上越国境の山々の紅葉も所々日に照ら のが正解。対岸の向山、大源太山など つくられているが、ここは歩いて登る ムタコ沢沿いには、舗装された林道が まじりあってなかなか見事だ。眼下の 空は薄曇りだが、丁度紅葉が見ごろ

な円錐型の稲包山(上信越高原国立公 稲包山は見えない。峠から少し登り、 沢対岸の山々は見えるが、残念ながら 葉も終わって、裸の木立越しにムタコ こまで来ると、さすがに見事だった紅 頂上までは約三十分。頂上は狭い。 面のクマザサの高原にでると、見事 休憩用の東屋が建っている。こ 一種特別地域)が見えた。

> 予定地(同国立公園普通地域)も時々 が出てきた。北側の眼下に、 べるのか」という疑問の意見も出る。 いところにスキー場を作っても客を呼 チラっと見えるだけだが、「こんな狭 見事な眺望のはずだが、残念ながら霧 霧が晴れた。驚いたことに、すぐ隣 スキー場

でる。 リー・スキーのブームがくると、稲包、 ウェイやリフトの鉄塔が肉眼でも鮮や が筍山の苗場スキー場だった。 建設も夢とはいえない」という意見も かに見える。「近い将来クロスカント 苗場、岩菅、焼額と繋ぐ一大スキー場 ロープ

かって出発した。

登山口で九時前後に合流、赤沢峠に向

師温泉に泊っていた本多夫妻と赤沢山 出発したメンバー十人は、前日から法

早暁、四台の車に分乗して首都圏を

痛切に感じた。 環境は、このまま残しておきたい」と 林帯、素朴な温泉など、周辺の美しい ともあれ「上越国境の山々、落葉樹

議事

市川佐江子、梅本知栄子、山口悠紀子、 貞亨、本多勝一 ・同夫人 澤井政信、梨羽時春、黒沢秀雄、 参加者 池田剛、 横山隆、 市川義輝、 関塚

。会務報告

十二月臨時理事会

場所:新高輪プリンスホテル・パ 十二月七日 (土) 十三時~ ミール館・紅玉

長、小倉(茂)、大倉、大森、小倉(厚)、 出席者:山田会長、藤平、松田両副会

穴田、 山口、各理事、飯野、中島両監事、 委任:山本、関口、神崎、重廣各理事 原、橋本、斎藤、湯浅、西村常任評議員 石橋、伊丹、 藤井、 南川、 村井、 鴫

*平成四年度ナムチャバルワ峰に再挙

十二月定例理事会

場所:本会会議室 十二月十二日 (木) 十八時~

穴田、石橋、伊丹、藤井、南川、 長、小倉(茂)、大倉、大森、小倉(厚)、 出席者:山田会長、藤平、 松田両副会 村井、 鴫原

橋本、西村常任評議員 山口、神崎各理事、中島監事、

委任:関口理事、 飯野監事

り 野外活動の二つに参加することにした についてJACに二名派遣の依頼があ ン。92 (一九九二年一月二十八日) 開催 五つの分科会のうち4高年者、 文部省生涯スポーツコンベンショ 5

スで開催。 大西隊員の追悼会を番町グリーンパレ 十二月二十一日に検討会、 ナムチャバルワの件

された。このお金は海外登山基金に編 *十二月四日、大西君のご両親が来室 入することが承認された。 された。その際一〇〇万円が会に寄贈

> す。報告書は五月の総会の頃までに纏 環境庁と文部省に事業終了報告を出 収支報告を今月中に終える。 年内に

承認。

*会員九五五名:一七、四七五、

決まっている。 経団連関係の募金が動きだし少しずつ

報告会と

H A T

確認の後環境庁へ申請する。 74 〇〇円*企業募金:三三、八二五、 まるようにしたい。 万事務所へ事前の打ち合わせに行き、 十二月十日、新しい図面をもって地 募金状況十二月十日現在、 山岳研究所の件 0 0

各委員会の報告

*「日本山岳会のしおり」を改訂して 総務:本年の年次晩餐会には、 *「役員・委員名簿」が完成した。 増刷する。 名が出席した。 五七七

*二月二十二~二十三日に支部事務局 の援助を受けて開催する。 対策全国大会」を笹川スポーツ財団 担当者会議を水道橋グリーンホテル で開催し、二十二日は 「中高年登山

科学:マッキンレーのデータがマイナ ス七○度まで解析できた。タルキー する予定。 が見られる。 トナのデータも採れたので対応関係 大蔵委員が二月に報告

その他

八名。 本日の入会承認者は、足立ふみ氏他 青梅省登山協会訪日代表団三名が来 モンカなどを解放するとのこと。 コンロン登山月間としてカカサイジ 来年六月二十日~七月二十日を

ーム日誌

(12月)

3 日 2日 日 日 故大西宏氏ご両親来室、 学生部、女性懇談会 スケッチクラブ 総務委員会、晩餐会飾りつけ 青年部

日 H H チャ支援隊写真交換会 海外委員会 図書委員会、 資料委員会、 アルパインスキー スケッチクラブ

6 5

H

青梅省登山協会三名来室、

ナム

14 12 H H 忘年会 理事会

17 日 フィルム委員会

19 18 H 三水会 科学委員会、

25 24 集会委員会 自然保護委員会 女性懇談会

12月来室者49名

員異動

12月

姓名変更

山浦源太郎、西山秀夫、山田昭一·知

前原満之、篠原千秋

(累計

小野寺香枝 九一 七三 →竹内優子

> 物 故

米沢直治 (一一〇三四) 水橋忠司 国分勘兵衛(一三三八・永年) (七八六四) 91 7 24 12 10 12 13

退

大野真一 (五六二七

山研・ ナムチャ合同募金応募状況

ル、中保、轡田隆史、斉藤幹雄、 竹重里、 蒲生明登、 英夫、篠田勝久、梅本知栄子・霊邦、(三 二十旦 梶正彦、室賀輝男、 竹内佐郎、 廣江研、 (七口)荒井紀子、(六口)宮 武田満子、 (十口) 西村政晃 (一月九日現在 (四口)中村テ 錦織

崎直人、梨羽時春、江村真一、窪田升 口)豊田博、加藤康一郎、三鍋久雄、(二 一、三枝啓子、大谷亮、山内敏亘、 川井耿子、山口節子、川善市、 山本宗彦、渡辺勝彦、 鶴見敏彦、朝比奈英三、鈴木 松本元、 Ш 丸

英子、長田喜久子、小島一喜、 要三、星子貞夫、余部守男、 俵山守男、島田一史、大屋悌二、朝倉 森恵子、岡野谷誠、竹村隆、 楠田育成、 伊藤博夫、 影山英

淳一、清瀬祐司、日英ソ友好チョモラ ンマ登山隊一九九二、(一口)宮本貞雄、 百瀬寿雄、古屋紘、大宮求、吉岡 は、 ます。

上 ナ ム チ + バ ル ワ 峰 登 山 高地

Щ 岳 研 究 所改築 合同募金に協力しましょう!

百四十八万五千百九十九円 九名、三千六百八十五・六口、 www.www 一千八



国土地理院、 からのお知らせ (財)日本地図センター

覧―一〇〇三山』の正誤訂正 国土地理院『日本の山岳標高

り(表示なし)、2刷の別を明記の上、 左記宛てハガキかファクシミリで初刷 既にお買い上げ頂いた方については、 中で訂正が若干見付かっております。 売されましたが、その後増刷を重ねる 正誤表をご請求頂ければお送りいたし 標記の冊子は昨年八月末に発表、 発

と一一九ページの県を入れ替える。 兵庫県に、またこれに関連して一一八 ○九ページの岩手山の標高を二○三八 五十七ページ:久斗山は鳥取県を 現在発売されている3刷の正誤

がに訂正。

進部 八九 台四-九-六日本地図センター販売促 連絡先:一一五三東京都目黒区青葉 (FAX:〇三-四三六五-七六

●第十六回若葉会山行 (予告)

白山のブナ原生林 千振尾根を歩く

す。 を別の角度から眺めようとする企画で 協力をえて、 原生林帯の千振尾根を歩き、 本年の若葉会山行は、 白山々麓に残されたブナ 石川支部のご 白山本峰

期日 平成四年五月三十日(土)~三十 九日(金)夜発、 仕立てる予定 日(日) 一泊二日 貸切バス一台を (東京二十

宿舎 白峰温泉の里 御前荘

案内いたします。 詳細については、 ☎○七六一九一八一二三三四 本誌四月号にてご 集会委員会

●講演会のお知らせ

名称 登山と野生動物

その他 講師 三月二十七日(金)十八時三十分 JAC集会室 山瀬一裕 無料

●図書委員会の催し

自然保護委員会

講師 テーマ ヒマラヤ文献目録とその周辺 薬師義美氏

(1)第二十三回山岳図書を語る夕べ

場所 日時 山岳会ルーム 三月三日(火)六時三十分より

2第二十九回この一本展

が終わり、二月の声と共に本格的な活 編集後記 "山岳図書を語る夕べ』に併催 ▲新年会、新年山行の一月

終ったが、今年はまだナムチャと山研 支援をお願い致します。 のことが残っています。ますますのご

動が始まる▲HAT─Jの会議だけは

平成四年二月二十日発行

102 東京都千代田区四番町五一四 サンビュウハイツ四番町

編集代表 発行者 編集代表 小 倉 厚発 行者 山 田 二 郎 会

発

行

振替口座 東京三―四八二九番

東京都港区赤坂一―三―六 株式会社 技

印